

令和4年度 行田市立南河原中学校 グランドデザイン

第3期埼玉県教育振興基本計画 (H31~R5)

豊かな学びで 未来を拓く埼玉教育

- 確かな学力の育成
- 豊かな心の育成
- 健やかな体の育成
- 自立する力の育成
- 多様なニーズに対応した教育の推進
- 質の高い学校教育のための環境の充実
- 家庭・地域の教育力の向上
- 生涯にわたる学びの推進
- 文化芸術の振興
- スポーツの推進

校訓 『真実・英知・剛毅』



行田市教育大綱
「郷土に誇りを持ち
未来を切り拓く人材を育む」

- 行田で育ち、行田で学んでよかったと実感できる教育の実現
- 確かな学力と生きる力を育む教育の推進
- 安全で快適な教育環境整備の推進
- 子どもの健全育成と心の教育の推進
- 人権を尊重した教育の推進

学校教育目標
〈基本目標〉 知性に富み 心豊かな生徒の育成
・正しく判断し実践する生徒
・「学び」に努力する生徒
・心身ともに健康な生徒

目指す生徒像
笑顔と活力と自信に満ちた生徒
○夢をもち、努力を惜しまない生徒
○相手への思いやりと感謝を忘れない生徒
○自分の考えをもち、示せる生徒

目指す学校像
笑顔と成長が見られる学校
生徒・保護者・地域から信頼される学校

スローガン
小さくともキラリと光る南河原中学校

目指す教師像
生徒の良さと力を伸ばせる教師
○自信をもって教育活動に臨むことができる教師
○謙虚な気持ちを持ち続ける教師
○「チーム南河原中」フォローできる教師

学校経営方針

- 生徒をほめる・認めることに重点を置き、育てる指導を行う。
- 教職員の共通理解のもと、教育活動の方向性を全教職員で一致させ、強みを生かし魅力ある学校づくりを推進する。
- 日々の教育活動の振り返り・評価を絶えず行い、より充実した確かな実践に努める。
- 教育公務員としての情熱をもち、指導力の向上を目指し常に課題をもって研究と修養に努め、教育実践にあたる。

- 教職員は、生徒にとって、身近な生き方のモデルとなる存在であることを意識する。
- 基礎・基本の習得の上に、思考力・判断力・表現力等の育成や、人間としての生き方を身に付けた生徒を育成する。
- 人命・人権尊重の教育を徹底し、思いやりの精神に満ちあふれた学校をつくる。
- 学校・家庭・地域の連携と絆を深め、互いに連携した教育活動を図るとともに、保護者・地域の期待と信頼に応える教育を進める。

重点目標

豊かな学び

確かな学力向上

- 基礎的・基本的な知識・技能(生きて働く)
・家庭学習の充実 (eライブラリ・家庭との連携)
・学力向上三者面談の実施 (全学年)
・授業力の向上 (専門的知識、実践的指導力)
・考える、考えさせる授業
・アウトプットの機会の確保
思考力・判断力・表現力(未知の状況にも対応)
・授業の改革 (主体的・対話的・深い学び)
・研修・研究授業の実施
・管理職による計画的な教室訪問
・じっくり考える時間の確保
主体的に学習に取り組む態度(学びを生かす)
・指導と評価の一体化 (成長の可視化)
・全国学テ、県学調の有効活用 (学力向上三者面談)

- 豊かな人間性 (豊かな心)
・いじめ防止の徹底、早期発見、早期対応
・考え議論する道徳授業の充実
・人権教育の充実

- 健康や体力 (健やかな体)
・感染症防止対策の徹底
・部活動再編と指導の充実
・規律・体力UP

- 自立する力 (進路指導・キャリア教育の充実)
・体験学習の充実
・適切な進路情報の提供

- 生徒指導・教育相談
・いじめ・不登校生徒の予防・解消
・チームで積極的な生徒指導(報連相)
・各委員会の適切な運用

- 環境教育
チームで安心・安全な学校作り (安心して生活・安全に過ごせる)
・施設・設備の徹底管理
・交通安全教育の充実
・危険予測・危険回避能力の育成

- 保護者・地域連携 信頼される学校創り
・小中連携の充実 (挨拶運動、連絡会)
・学校運営協議会
・情報発信 (HP、学校報等)
・合同引渡し訓練

学校評価

- 教職員・生徒・保護者の評価
- 学校運営協議会委員の評価

研究主題：ふるさと南河原を愛し、未来をたくましく生きる子供の育成
—確かな学力を身につけ、豊かな心と健やかな体をはぐくむ小中一貫教育の推進—

目指す子供像：ふるさとを愛し、未来をたくましく生きる南河原っ子

ふるさと学習